

- 【調査速報】横穴式石室を発掘 — 野洲市福林寺古墳群 —
- 【展示案内】『戦国時代の京都・近江—六角氏だってすごかった！』
- 【刊行案内】『紀要』第 35 号を刊行しました！
- 【講座案内】連続講座『アートから読み解く近江の歴史と文化財』



あきつ君

【調査速報】横穴式石室を発掘

— 野洲市福林寺古墳群 —



◆ 3 号墳の石室

(写真：滋賀県 提供)

福林寺古墳群は、野洲市小篠原に所在します。近江富士とも呼ばれる三上山の北側に連なる田中山の西麓に立地します。古墳群は 11 基で構成され、いずれも埋葬施設として横穴式石室をもつ直径 10 ～ 20m の円墳とみられています。

今回の発掘調査は、砂防工事事業に伴い実施しました。今年度は 3 号墳を中心に調査を行い、調査の結果、3 号墳は直径 12m 程度の円墳で、埋葬施設が南西に開口する右片袖式の横穴式石室であることが分かりました。石室の全長は 6.5m を測り、玄室の長さ 3.8m、幅 1.8m、天井までの高さは 2.1m を測ります。羨道は長さ 2.7m、幅 1.1m を測りますが、天井の石材は残っていませんでした。



※「右片袖式」の横穴式石室とは、遺体を埋葬する空間である「玄室」の奥から入り口方向を見た時、左寄りに通路（羨道）が接続するため、右側に空間（袖）がある石室です。

野洲市福林寺古墳群の調査 ―砂防工事に伴う発掘調査―

◆ 福林寺古墳群と福林寺

古墳群の西側隣接地には、史跡福林寺跡があります。現地には鎌倉～室町時代の磨崖仏や一石五輪塔、石仏が点在しています。この寺院跡を中心とする福林寺遺跡の発掘調査では、建物の礎石が見つかり、飛鳥時代後半（7世紀後半～8世紀初め頃）の瓦が出土しています。福林寺は、7世紀後半に創建された野洲郡の代表的な古代寺院であり、室町時代頃まで存続していたようです。

それらのことを踏まえると、古墳の被葬者と福林寺を造営した氏族との関係が注目されます。しかし、これまで発掘調査が行われたことはなく、実態がよくわかっていませんでした。



◆写真1：羨門部から玄室をのぞむ



◆写真2：玄室の遺物出土状況

◆ 福林寺3号墳の調査

今年度の主な調査対象は、福林寺古墳群3号墳です。調査の結果、3号墳の横穴式石室の詳細が明らかとなりました。副葬品が出土するなど、当古墳群の評価や地域の歴史を考えるための手がかりが得られました。

遺体を安置した玄室内の床面付近から土師器や須恵器、耳環、鉄鏃等が出土しました（写真2）。また、袖部付近では土器が寄せ集められたような状態で見つかりました（写真3）。ただし、遺物は羨道や石室の入口付近からも出土しており、後世に盗掘をうけたことが窺えます。

イヤリングである耳環は4点出土しました（写真4）。埋葬された人物が耳に装着していたものとみられます。4点のうち写真下段の2点は大きさや太さがよく似ており、一組であったとみられますが、他の2点は大きさや太さが異なります。本来は、それぞれに組み合う耳環があったと推測され、石室には3人以上埋葬された可能性が考えられます。



◆写真3：袖部付近の遺物出土状況

◆ まとめ

発掘調査の結果、3号墳は出土遺物から古墳時代後期（6世紀後半～末頃）に造られたと評価されます。耳環から3人以上が埋葬されていたことがわかりましたが、埋葬間隔等については、遺物等の詳細な分析をとおして今後、明らかにしていくことが課題となります。

野洲市域では、6世紀中頃から7世紀にかけて三上山周辺に300基を超える群集墳と呼ばれる小型の古墳が造られます。このような小型の古墳について、今回の調査で具体的な資料が得られたことは、地域の歴史を考える上で貴重な成果といえます。



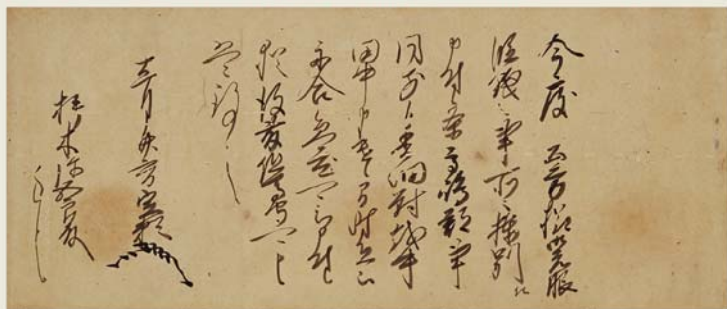
◆写真4：出土した耳環（写真：滋賀県提供）



戦国時代の近江・京都ー六角氏だってすごかった!!ー



◆重要文化財 桑実寺縁起絵巻（近江八幡市桑実寺所蔵） 六角定頼の庇護を受けた足利義晴が桑実寺に奉納した絵巻



◆重要文化財 六角定頼書状-朽木家文書-(国立公文書館蔵)

六角定頼が、足利義晴の元服式の費用を高島郡内にも課するよう朽木植広に伝えた文書

戦国時代の小説やドラマでは近江を支配した六角氏^{ろっかく}が主人公になることはほぼありません。上洛する織田信長に城を追われてしまう姿が描かれるばかりです。豊かな近江の国の守護^{しゅご}を四百年にわたって務め、巨大な観音寺城を拠点^{きょてん}にしていた近江源氏佐々木氏惣領家の六角氏。その実力はその程度だったのでしょうか。

信長上洛までの約七十年間、室町幕府において六角氏は重要なポジションにありました。將軍の討伐に対抗できる軍事力を持ち、政争で都を追われた將軍を庇護し、その政治力で京都^{きょうと}の覇権^{はけん}を争う三好長慶や管領細川氏と対等に渡り合っています。

本展ではあまり知られていなかった六角高頼・定頼・義賢^{よしかた}の三代を取り上げて、近江・京都の戦国史を紹介します。

開催期間：令和4年4月23日(土)～6月5日(日)

入館料：大人 900 円 高大生 640 円 小中生 420 円
県内高齢者(65歳以上) 460 円

※「信長の館」との共通券もあります。

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分)

休館日：月曜日(5月9日・16日・23日・30日)



◆滋賀県指定文化財
室町幕府奉行人連署禁制
ー金勝寺制札ー
(栗東市金勝寺蔵)

六角征伐の際に、金勝山の安全を守るため出された禁制

◆春季特別展記念講演会

開催日：令和4年5月29日(日) 13:30～15:00

「戦国大名六角氏の史料一定頼期を中心に」

講師：村井 祐樹氏(東京大学史料編纂所准教授)

参加費：500 円

定員：50 名(往復はがきによる事前申込制、応募多数の場合抽選)

※詳しい申込方法は開催約1か月前から安土城考古博物館 HP にてお知らせします。

◆史跡案内① 観音寺城跡

開催日：令和4年4月25日(月)

定員：15 名 参加費：2000 円(入館料・入山料を含む)

◆史跡案内② 桑実寺

開催日令和4年5月7日(土)

定員：15 名 参加費：1500 円(入館料・入山料を含む)

※予約は1か月前の同日より電話(0748-46-2424)で受付

※新型コロナウイルス感染症の状況により、やむなく会期を変更する場合があります。最新の情報は滋賀県立安土城考古博物館HPでご確認ください。

滋賀県立安土城考古博物館

〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678

TEL. 0748-46-2424 FAX. 0748-46-6140

URL: <https://www.azuchi-museum.or.jp/>



詳しいご案内はこちら

『紀要』第35号刊行しました！

— 設立50周年記念号Ⅱ —

滋賀県文化財保護協会設立50周年記念号第2弾！
縄文時代から古代、近世、そして活用に至るまで幅広い
テーマの論考が揃っています。



円筒上層式土器における土偶意匠の展開と実態

— 認識の更新と深化に向けた素描 —

瀬口眞司

滋賀県における縄文時代早期後葉～前期前葉遺跡の集成

小島孝修

はじまりのモニュメント—縄文晩期における墓配置の一事例—

松室孝樹

上砥山遺跡出土木製品の年輪年代測定からみた出土遺構の数値年代

前田仁暉・星野安治・内田保之

大津市神領所在瀬田廃寺造営過程の検討

小松葉子

八幡山城跡出土軒平瓦についての一試論

— 主に製作技法・製作痕跡から —

山口誠司

滋賀県内出土の江戸時代の化粧道具

田中咲子

長浜市八雲書院資料調査報告＜瓦編1＞

古山明日香・福井知樹

茶の利用について研究ノート（1）

小竹志織

文化財の保存と活用のこれまでとこれから

— 調査法人滋賀県文化財保護協会の取り組みから —

堀 真人

※各論考の要旨はホームページ（<http://shiga-bunkazai.jp/>）でご覧いただけます。

紀要

■設立50周年記念号Ⅱ

円筒上層式土器における土偶意匠の展開と実態

— 認識の更新と深化に向けた素描 —

瀬口 眞司 (1)

滋賀県における縄文時代早期後葉～前期前葉遺跡の集成

小島 孝修 (20)

はじまりのモニュメント

— 縄文晩期における墓配置の一事例 —

松室 孝樹 (28)

上砥山遺跡出土木製品の年輪年代測定からみた出土遺構の数値年代

前田 仁暉・星野 安治・内田 保之 (35)

大津市神領所在瀬田廃寺造営過程の検討

小松 葉子 (42)

八幡山城跡出土軒平瓦についての一試論

山口 誠司 (54)

— 主に製作技法・製作痕跡から —

田中 咲子 (62)

滋賀県内出土の江戸時代の化粧道具

小竹 志織 (68)

長浜市八雲書院資料調査報告＜瓦編1＞

古山 明日香・福井 知樹 (76)

茶の利用について研究ノート(1)

堀 真人 (85)

文化財の保存と活用のこれまでとこれから

— 調査法人滋賀県文化財保護協会の取り組みから —

堀 真人 (91)

35

公益財団法人滋賀県文化財保護協会 2022.3

【A4版 103頁 2022.3刊行 1,000円（税込・送料別）】

※オンラインショップ「近江文化財本舗」(<https://shiga-bunkazai.com/>)
で買い求め頂けます。オンライン決済もできますのでぜひご利用ください。

連続講座文化財もの知り学

『アートから読み解く近江の歴史と文化財』

受講生大募集

第4回

今年も6月からスタートする連続講座（全7回）。文化財保護協会50周年／
滋賀県政150年にちなんだスペシャルな講座を用意しました。近江の歴史の
奥深さを文化財を通して実感してください。ご自宅からオンラインでもお楽し
みいただけます。



（写真：滋賀県提供）

栗東市蜂屋遺跡出土軒瓦（法隆寺式軒瓦）

第1回 2022年 6月18日（土）

フィギュアの考古学／日本最古の相谷土偶の意味 瀬口眞司

第2回 2022年 7月16日（土）

弥生の剣の考古学／文様と形からみた歴史 中村健二

第3回 2022年 8月20日（土）

並べられた埴輪たち／彼らは何を演じていたのか 辻川哲朗

第4回 2022年 9月17日（土）

古代のエングラム／瓦のアートから探る歴史 福井知樹

第5回 2022年 10月15日（土）

聖なる舎利の信仰／美しき石製塔婆の歴史

滋賀県立大学教授 佐藤聖氏

第6回 2022年 11月19日（土）

近江の考古学発見史／県政150年が誇る蓄積

滋賀県文化財保護課 田井中洋介氏

第7回 2022年 12月17日（土）

戦国の身だしなみ／その背景と歴史を語る 堀 真人



●主 催 公益財団法人滋賀県文化財保護協会

●後 援 滋賀県立大学・京都橘大学

●時 間 10：30～12：00

●申し込み先・方法

受講会場により異なりますので、下記の表で
ご確認ください。

●問い合わせ

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

077-548-9780（平日8：30～17：15）

※詳細は滋賀県文化財保護協会HPでご確認ください。
(<http://www.shiga-bunkazai.jp/>)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、やむなく開催の延期等の日
程を変更する場合があります。

受講場所	実施方式	定員	受講料	申し込み方法	
①滋賀県 埋蔵文化財センター	対面方式	23名	全7回一括7,000円	滋賀県文化財保護協会 【電話】077-548-9780 （平日8：30～17：15）	令和4年5月17日締切 応募者多数の場合は抽選
②安土城考古博物館	on-line方式 （サテライト）	50名	全7回一括5,000円		
③平和堂石山店 コミュニティルーム	on-line方式 （サテライト）	15名 （各回）	全7回一括5,250円 1講座 1,000円	平和堂旅行センター 石山営業所 077-531-2828	令和4年4月中旬から申し 込み開始予定 先着順 開始日は協会HPで要確認
④自宅（Zoom使用）	on-line方式	100名	全7回一括5,000円	【メール】shop@shiga-bunkazai.jp	令和4年5月17日締切